

□ 災害を想定した授業

【期待される効果】

災害に対する理解を深め、命の大切さや自助・共助の大切さについて学ぶことで、災害時に適切な行動をとることや、日頃の備えの必要性を知ることができる

□ 授業「災害対策本部を体験」

- 対象学年 小学生（中学年）
- 実施者 教員、役場職員(防災)
- 授業内容 役場の災害対策本部の仕事を体験。災害対策本部の情報班(被害状況等を取りまとめる班)、情報収集班(現場等に行き発生状況等の情報収集をする班)を生徒に体験させ、各班のリーダーを決め、無線を活用し災害被害の情報を本部集約させる。



□ 授業「地震から暮らしを守る」

- 対象学年 小学生（中学年）
- 実施者 教員
 - ※使用教育ツール「うさぎ一家の防災グッズ選び」(インターネットで無料ダウンロード可能)
- 授業内容 家で非常用持ち出し袋に何を優先して入れるか、根拠をもってグッズを選択できるようワークシートを使用しながら、生徒達に防災グッズを選択させる。



□ 授業「ハザードマップについて」

- 対象学年 小学生（全学年）
- 実施者 役場職員（防災）
- 授業内容 自治体のハザードマップを活用し、生徒達が地域の災害リスクを学ぶとともに、自宅や学校からの避難場所や避難経路を確認する



□ 授業「避難訓練 in English」

- 対象学年 中学生
- 実施者 教員、外国人英語講師
- 授業内容 災害発生時、英会話を用いて身近にいる外国人に避難を呼びかける練習や災害グッズの英語名称、用途などを外国人に英会話を用いて伝える



□ 授業「防災〇×クイズ」

- 対象学年 小学生（中学年）
- 実施者 教員、役場職員（防災）
- 授業内容 災害の種類を映像を見せながら説明、防災クイズを実施後に、各班で地域に必要な防災対策を考えながら、自分たちで防災クイズを一問ずつ作成し発表する

